

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ● かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2016.12

Vol.246



THE KAWASAKI FOUNDATION

生のベートーヴェン現る!?
苦悩の果てに彼は何を見るのか。
年越し前のお楽しみ、
ミュゼザジルベスターコンサート



CONTENTS [目次]

- | | | | |
|------------|-----------------|---------|-----------|
| 02 特集 | ミュゼザジルベスターコンサート | 10 美術 | 市内ギャラリー情報 |
| 04 音楽 | ミュゼザ川崎シンフォニーホール | 13 演劇 | アルテリオ小劇場 |
| 07 歴史・文化 | 東海道かわさき宿交流館 | 14 映画 | アルテリオ映像館 |

ミュゼ川崎シンフォニーホールで大晦日に行われるジルベスターコンサート。毎年、一年の聴き納めにふさわしい豪華プログラムでお届けしている好評企画です。

今年はベートーヴェンの『第九』と、ヨハン・シュトラウスの『ワルツ』を中心にお楽しみいただきます。

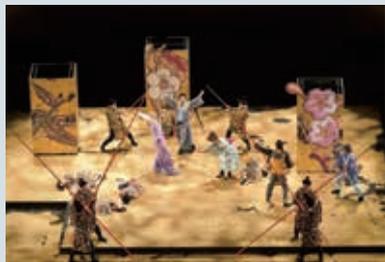
日本を代表する指揮者・井上道義さんと、オペラ以外の舞台でも活躍するバリトン歌手・大山大輔さんを迎え、これまでとはひと味違う“お楽しみ”が沢山待っているこのコンサート。司会と構成も務める大山さんにお話を伺いました。

井上シュトラウス、大山ベートーヴェン誕生秘話

—— 今回の公演チラシは井上さんと大山さんがヨハン・シュトラウスとベートーヴェンに扮していて、とてもユニークですね。この企画はどのようにして生まれたのでしょうか？

井上さんとは昨年、『フィガロの結婚』で共演したのですが、このチームでベートーヴェンの『第九』を演奏したいねという話がありました。しかし、ただ『第九』をやっても面白くないと思った井上マエストロ。僕が昨年末にサントリーホールで行ったジルベスターコンサートの台本を書いたという噂をどこかで耳にされたのか、司会と構成を任せてくださいました。

さらに、井上さんとの「お前ベートーヴェンやれよ、俺シュトラウスやるから」というまるで小学生の「俺ウルトラマンで、お前ゴジラな」みたいな会話で、この企画がスタートしたのです。



昨年、ミュゼで上演された『フィガロの結婚』

撮影の日、井上さんが「本当は、全身金に塗ってみたいかったんだよね〜」(ウィーン市立公園に建つ金のシュトラウス像をイメージして)と仰っていたのですが、まあそこは皆で諦めてもらいました(笑)。

厳かな年末にシュトラウスが乱入!?

—— 年末を象徴する『第九』と、新年を象徴する『ウィンナワルツ』が一緒にプログラミングされていますね。

年末を彩る日本の風物詩である『第九』の作曲者はベートーヴェン。そして、ヨハン・シュトラウス2世が作曲した『皇帝円舞曲』は、ウィーンのニューイヤークンサートで過去19回も演奏されました。こちらは、いわば新年の象徴ですから、年をまたいだ攻防…のようなイメージになりますね(笑)。

そして、前半に演奏する『コリオラン序曲』と『エグmont序曲』。この二曲は英雄譚で、世の苦しみの中に身をさらしつつ、そこを突破するという戯曲内容に触発されてベートーヴェンが書いた曲です。彼自身も「苦悩の中から明日へ」という人生を送りました。

ベートーヴェンの最大の特徴はパトロンがいなかったことで、金銭的に常に苦しい思いをしながら音楽で食べていました。実際はパトロンをつけることも出来たのに、断っていたらしいんですね。ですから、彼はちょっとしたドM気質でいばらの道を歩みたがるタイプなんです。そこへ『ワルツ』でフライングしてくるシュトラウス……。どんなステージになるか、大いにご期待ください。

クラシック音楽を現代のエンターテインメントに

—— 大山さんはコンサートの台本執筆、MCやナレーションでも活躍していらっしゃいます。歌だけではなく、台本を書くようになったきっかけは何だったのでしょうか？

堅苦しくて難しいと思われがちなクラシック音楽ですが、「私なんか聞きにいってもわからない」とおっしゃる方が意外に多く、そういうことを聞かされたときにすごくもったいないと感じています。

現代のエンターテインメントにしっかりと寄り添っていきたいと思い、お客さんへ橋渡しをしたくて、MCやナレーションを引き受けるようになりました。

音楽は、曲が始まってしまえば「よく分からないけど、生のオーケストラってすごいな」とか、「マイクを使わずに歌っていてすごいな」と思いながら聞いているうちに、なんとなく時

年越し前のお楽しみ、 ミュゼ ジルベスターコンサート

生のベートーヴェン現る!?!
苦悩の果てに彼は何を見るのか。

インタビュー…大山大輔さん(バリトン歌手)



間が過ぎてしまいます。しかし、そこに意味合いと信念を持って構成していることを言葉で補足されると、「なるほど」と思いますよね。エンターテインメントと言いましたが、クラシックである以上は、人の知識欲も刺激したい。そういったところも欲張って伝えたいと思うと、人に任せた台本ではなかなか出来ません。ならば自分で書こうと思い、台本執筆を始めました。

オペラを日本語に訳して上演する台本も書いています。既存のものだと原語を訳してセリフ化しているので、時代が合わないんですね。例えば、モーツァルトの『魔笛』の中に「鳥にもいろんな色があるなら、人にもいろんな色があっていいじゃないか」というセリフがあります。これには人種差別するなという深い意味が根底にあるのですが、ただ訳しただけでは、本当に伝えたいことをキャッチしてもらえません。どのように言い方を変えれば、元の意味は変えずにお客さんがくすっと笑いつつ、ズシンと心に残るのか。そういった落としどころを考えるのが好きなのです。

上品なお客さんにも受けが良い僕の○○さ

—— 実際のお客さんの反応はいかがですか？

自作台本のコンサートでは沢山のお客さんが笑ってくれて、「こんなに笑わせてもらったコンサートは初めてです」という感想をよくいただきます。笑って頂けるものにはお下品なものもあるのですが、たとえ下品な内容や言い回しであっても、上品なお客さんにも受けが良いというのが自慢です(笑)。ひとたび舞台上に立ったら、言いたいことを濁らないようにきちんと届けたい。ですから、こういった役を任せてもらえるのは何よりですね。



台本の発想は、曲からのインスピレーションでどんどん湧いてきます。最近では、『フィガロの結婚』を歌手5人で1時間に縮めて上演するという公演をプロデュースすることになり、新しい台本を書きました。また『メリー・ウィドウ』も、歌手4人とピアノで1時間にまとめつつ、ほぼ全曲を網羅するという台本を書き上げ、今度船上で上演します。オペラやミュージカル作品を1時間で楽しんでいただけるプログラムが揃ってきましたので、企画をお探しい方は是非声をかけて下さい(笑)

マエストロとの信頼関係と憧れ

—— 指揮者の井上道義さんとの共演についてお聞かせください。

井上さんは素晴らしいキャリアを持ち、第一線を走り続けているマエストロですが、すごく柔軟性があり発想が豊かです。

また、彼と話していると「俺と同じだ」というセリフを何度も聞きます。恐らく、僕と考え方の方向性や振れ幅が近いんですね。

そして、とにかく面白いことをしたいと思っている方で、「クラシック音楽は古典だけど面白いぞ、楽しいぞ、綺麗なんだぞ」と、良いことしか考えていません。僕も全く同じです。クラシック音楽は堅苦しくて難しいと言われてしまったときに、「そんなこと言わずに聞いてみてよ」という姿勢も同じです。

これだけ年齢が離れているのに似たような感覚をもち、お互いを分かりあえる良い関係です。破天荒で、どう考えても普通じゃないマエストロ。そうになりたいという憧れの存在でもあります(笑)。

クラシック音楽の良さが抽出された公演に

—— 最後にお客様へメッセージをお願いします。

数ある年末イベントがありますが、この公演は15時開演なので、他の年越しイベントへ“はしご”できます。一軒目はぜひミュージザへお越しください(笑)。

この公演に触発されて「来年はできるだけ音楽を聞きに行こう。シンフォニーを聞きたい。歌も聞きたいな、お芝居も行けたらいいな」と、いろいろな方面に更に深く手を延ばしていただきたいですね。ただし、それを可能にするのは、一流のオーケストラであり、指揮者であり、歌手であり、ピアニストです。これだけ素晴らしい演奏者を揃えて、間口はこんなにふざけさせてくれるミュージザの懐の深さはすごいですね。

「舞台上でベートーヴェンがごちゃごちゃ喋っていたけど、良い音楽を聴いた」と思っていたのが最終目的です。

ベートーヴェンは苦悩の果てに何を見るのか——。舞台上で襲い掛かる数々の災難?にご期待ください(笑)。

取材日2016.10.12

プロフィール

大山 大輔 [Daisuke Oyama]

1982年鹿児島生まれ。東京藝術大学を首席で卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。

主な出演作は『セビリアの理髪師』フィガロ、『フィガロの結婚』フィガロ、伯爵、『メリー・ウィドウ』ダニロや『こうもり』ファルケ等。主要な役を数多く演じている若手筆頭バリトン。最近では、アクトシティ浜松にて手塚治虫原作、宮川彬良作曲の新作オペラ『ブラック・ジャック』、井上道義×野田秀樹コラボレーションオペラ『フィガロの結婚』全10都市公演、各表題役での出演と目覚ましく活躍。役者としても活動しており、朗読劇やナレーション、様々な演劇作品へ出演の他、劇団四季ミュージカル『オペラ座の怪人』ではファントム役で出演する等、オペラ以外の舞台活動でも好演を重ねている。洗足学園音楽大学ミュージカルコース講師。

オフィシャルブログ『ネコとオペラと大山大輔 改』

<http://s.ameblo.jp/necoto-operato-xxxx/>



井上 道義 [Michiyoshi Inoue]

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。1971年グイド・カンテリ指揮者コンクールに優勝。ニュージランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督を歴任。これまでに、シカゴ響、ベルリン放送響、ベネズエラ・シモン・ボリバルなどに登場している。1999年から2000年にかけて、マーラーの交響曲全曲演奏会を10回シリーズで、新日本フィルハーモニー交響楽団とすみだトリフォニーホールにて行い、「日本におけるマーラー演奏の最高水準」と高く評価された。2007年、日露5つのオーケストラとともに「日露友好シオスタコヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を開催、2013年4月には Санктペテルブルク交響楽団と日本国内ツアーを実施し、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。

2010年「平成22年京都市文化功労者」、社団法人企業メセナ協議会「音もてなし賞」を受賞。2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザーを務め、ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任。就任披露演奏会直後、病に倒れるが半年間の治療とリハビリテーションを経て同年10月に復帰を遂げる。自宅にアヒルを飼っていた。

オフィシャルサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>



公演情報

ミュージザ ベスター コンサート2016

好評
発売中!!

12月31日(土) 15:00開演 (14:15開場)

出演 ● 指揮: 井上道義

バリトン / 司会・構成: 大山大輔 ほか

プログラム ● ベートーヴェン:

交響曲第9番「合唱付き」より第3・4楽章 ほか

※詳細はP5をご覧ください。



撮影中、ポーズをチェックするお二人

ミュージザ川崎シンフォニーホールのお薦め公演

お申込み・お問合せ◎ミュージザ川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200 (10:00~18:00)

東京交響楽団 ジョナサン・ノット指揮
モーツァルト 歌劇 コジ・ファン・トゥッテ 全2幕
 演奏会形式・原語上演(日本語字幕付き)

12月9日(金) 18:30開演(17:30開場)
 S席12,000円 A席9,000円 B席6,000円 C席4,000円

夢のような豪華キャストで、ジョナサン・ノット&東京交響楽団が挑む新たなステージ。
 客席と舞台が一体化する特別な体験をお楽しみください。

出演

指揮、ハンマーフルーゲル:ジョナサン・ノット(東京交響楽団音楽監督)
 舞台監修、ドン・アルフォンソ:サー・トーマス・アレクサンダー・マレー
 フィオルディリッジ:ミア・パーション、ドラベッラ:マイテ・ポーモン
 デスピーーナ:ヴァレンティナ・ファルカス、フェルランド:ショーン・マゼイ
 グリエルモ:マルクス・ウェルバ
 合唱:新国立劇場合唱団、管弦楽:東京交響楽団



ジョナサン・ノット ©K.MIURA



サー・トーマス・アレクサンダー・マレー ©Sussie Ahlburg



ミア・パーション ©Mina artistbilder



マイテ・ポーモン ©Kirsten Nijhof



ヴァレンティナ・ファルカス



ショーン・マゼイ ©Barbara Aumuller



マルクス・ウェルバ ©Francesco Luciani

東京交響楽団の名手たちが奏でるクリスマス

出演

ハープ:景山梨乃 フルート:相澤政宏 ファゴット:福士マリ子

MUZAランチタイムコンサート

12月13日(火) 12:10開演(11:30開場)
 全席自由/500円

モーツァルト:ピアノソナタ K.333より
 J.S.バッハ:フルートソナタ BWV1031 ほか

MUZAナイトコンサート60

12月13日(火) 19:30開演(19:00開場)
 SS指定席(限定100席)2,000円 自由席1,000円

ジョリヴェ:クリスマス牧歌
 ドビュッシー:小組曲 ほか



景山梨乃 ©N Ikegami



相澤政宏 ©N Ikegami



福士マリ子 ©N Ikegami

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第123回 豪華絢爛、秋山の夢見るクリスマス!

12月18日(日) 14:00開演(13:30開場)
 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

ますます精力的に活動する巨匠・秋山が、中学生の天才ジャズ・ピアニスト奥田弦とソプラノの妖精、小林沙羅を迎えて華やかなプログラムをお届けします。

出演

指揮:秋山和慶
 ソプラノ:小林沙羅 ピアノ:奥田弦 ベース:生沼邦夫
 ドラムス:小山太郎
 管弦楽:東京交響楽団

プログラム

アンダーソン:クリスマス・フェスティバル、そりすべり
 ガーシュウィン:ラブソディー・イン・ブルー(奥田弦編)
 モーツァルト:モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」からアレルヤ
 チャイコフスキー:組曲「くるみ割り人形」から 他



秋山和慶



小林沙羅



奥田弦



生沼邦夫



小山太郎

東京交響楽団

MUZA パイプオルガン クリスマス・コンサート2016

Fantastic Pipes

12月23日(金・祝) 15:00開演(14:30開場)

S席3,000円 A席2,000円

鍵盤楽器 & 管楽器で聴くクリスマス! えっ、あの名曲がいったいどうなるの? この時期にぴったりの名曲がポップに、しっとりと彩られます。

ホール2階のドリンクコーナーにはドイツのクリスマスに欠かせないグリューワインとクリスマスのお菓子を期間限定で販売いたします。コンサート前や休憩時間にぜひご賞味ください。

出演

パイプオルガン: 山口綾規
ピアノ: 田代ユリ
トロンボーン: 清水真弓

プログラム

バーバー: 「きよしこの夜」によるコラール前奏曲
J.S.バッハ: 前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547
いずみたく: 見上げてごらん夜の星を
クリスマスメドレー ほか



山口綾規



田代ユリ



清水真弓

ミュージザ ジルベスターコンサート2016

12月31日(土) 15:00開演(14:15開場)

S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円

苦悩の果てに彼は何を見るのか… ベートーヴェン、ミュージザに現る!?
型破りなマエストロと、枠にハマらない舞台進行にワクワクが止まらない!!

出演

指揮: 井上道義 バリトン/司会・構成: 大山大輔
ソプラノ: 小林沙羅 メゾソプラノ: 森山京子 テノール: 西村 悟 ピアノ: 中桐 望
管弦楽: MUZAジルベスター管弦楽団

プログラム

ベートーヴェン: 序曲「コリオラン」 劇音楽「エグモント」序曲
J. シュトラウスII: 皇帝円舞曲
ベートーヴェン: 歌曲「アデライーデ」「イヒリーベ ディッヒ」ほか
ヨーゼフ・シュトラウス: 鍛冶屋のポルカ
ベートーヴェン: 交響曲第9番「合唱付き」より第3・4楽章



井上道義



大山大輔



小林沙羅



森山京子



西村 悟



グレブ・ニキティン

MUZA ニューイヤー コンサート2017

スペイン、フィレンツェ、ブエノスアイレス

——コンサートマスターと行く、お正月の音楽旅行!

2017年1月3日(火) 14:00開演(13:30開場) 全席指定3,500円

出演

ヴァイオリン: グレブ・ニキティン
(東京交響楽団コンサートマスター)
弦楽合奏: 東京交響楽団室内合奏団

プログラム

エルガー: 組曲「スペインの貴婦人」
(パーシー・ヤング編纂・編曲)
ピアソラ: ブエノスアイレスの四季(弦楽合奏版)
チャイコフスキー: フィレンツェの想い出



東京交響楽団室内合奏団

主催公演

3 土
15:00

第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2016

国立音楽大学(指揮:梅田俊明)、東京音楽大学(指揮:秋山和慶)
R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」作品40(国立) / マラー:交響曲第5番 嬰ハ短調(東京)

4 日
14:00

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第58回

指揮:ジョナサン・ノット チェロ:ヨハネス・モーザー
ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」第1幕への前奏曲 / デュティエ:チェロ協奏曲「遙かなる遠い国へ」 / シューマン:交響曲 第2番 長調 作品61

お問合せ:TOKYO SYMPHONY
チケットセンター 044-520-1511

主催公演

9 金
18:30

東京交響楽団 ジョナサン・ノット指揮 モーツァルト歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」

指揮:ハンマーフリーゲル:ジョナサン・ノット(東京交響楽団音楽監督) 舞台監修:ドン・アルフォンソ:サー・トーマス・アレン フィオルデリージ:ミア・パーション
ドラベッラ:マイテ・ポーモン デスビーナ:ヴァレンティナ・ファルカス フェルランド:ショーン・マゼイ グリエルモ:マルクス・ウェルバ
合唱:新国立劇場合唱団 管弦楽:東京交響楽団 モーツァルト:歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」 全2幕・イタリア語・演奏会形式・日本語字幕付

10 土
14:00

オーケストラ HA'MON 第36回 定期演奏会

指揮:富平恭平
シューベルト:交響曲第3番 / ブルクナー:交響曲第3番ノヴァーク版第2稿(1877年)

お問合せ:オーケストラハモン事務局
090-9819-4411

11 日
13:30

横浜フィルハーモニー管弦楽団 第76回 定期演奏会

指揮:田尻真高
サン・サーンス:交響詩「死の舞踏」 / ラヴェル:「マ・メール・ロア」組曲 / ベルリオーズ:幻想交響曲

お問合せ:横浜フィル事務局
080-3313-5851 (山下)

11 日
19:00

東芝フィルハーモニーコンサート 2016

指揮:河地良智 管弦楽:東芝フィルハーモニー管弦楽団 合唱:東芝フィルハーモニー合唱団
ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調, 作品125「合唱付き」

お問合せ:演奏会実行委員会
080-5537-8596 (森)

主催公演

13 火
12:10
19:30

東京交響楽団の名手たちが奏でるクリスマス

ハーブ:景山梨乃 フルート:相澤政宏 ファゴット:福士マリ子
ランチタイムコンサート
モーツァルト:ピアノソナタK.333より(ハーブソロ) / J.S.バッハ:フルートソナタBWV1031 / ドビュッシー:小組曲より 他
ナイトコンサート60
ジョリヴェ:クリスマス牧歌 / ドビュッシー:小組曲 他

17 土
14:00

専修大学フィルハーモニー管弦楽団 第44回 定期演奏会

指揮:林 憲秀
ロッシニ:セヴィリアの理髪師 / ドビュッシー:小組曲 / シベリウス:交響曲第2番

お問合せ:専修大学庶務課
044-911-1239

主催公演

18 日
14:00

名曲全集 第123回 豪華絢爛、秋山の夢見るクリスマス!

指揮:秋山和慶 ピアノ:奥田弦 ソプラノ:小林沙羅 他
チャイコフスキー:組曲「くるみ割り人形」から / モーツァルト:アレレヤ(モテト:「エクスタター・ユピラーテ」(踊れ、喜べ、幸いなる魂よ)K.165(158a)) / ガーシュウィン(奥田弦編):ラプソディー・イン・ブルー 他

主催公演

23 金・祝
15:00

MUZAパイプオルガンクリスマス・コンサート 2016 Fantastic Pipes

パイプオルガン:山口綾規 ピアノ:田代ユリ トロンボーン:清水真弓
パーカー:「きよしこの夜」によるコラール前奏曲 / J.S.バッハ:前奏曲とフーガ 長調 BWV547 / いずみたく:見上げてごらん夜の星を / クリスマスメドレー 他

お問合せ:神奈川芸術協会
045-453-5080

24 土
13:30

「ホリデー・クリスマス・イブ・コンサート」山形由美&宮本益光&加藤昌則

フルート:山形由美 バリトン:宮本益光 ピアノ:加藤昌則
ヘンデル:オンブラ・マイ・フ / モーツァルト:「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 / 【加藤昌則編】クリスマス・イブを演出する名曲の数々!

お問合せ:2016かわさき市民第九実行委員
044-988-6489(鈴木)

25 日
14:00

2016 かわさき市民第九コンサート

指揮:石崎真弥奈 管弦楽:麻生フィルハーモニー管弦楽団 ソプラノ:廣田美穂 メゾソプラノ:吉田郁恵 テノール:井ノ上了吏 バリトン:折江忠道
合唱:2016かわさき市民第九合唱団 第1部 モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 / 第2部 ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調「合唱付き」

お問合せ:042-555-0854(遠藤)

26 月
18:30

東京アカデミー合唱団 第62回 定期演奏会

指揮:秋山和慶 管弦楽:東京交響楽団 ソプラノ:半田美和子 アルト:三輪陽子 テノール:鈴木 准 バリトン:成田 真
ヘンデル:メサイア

お問合せ:東京工業大学管弦楽団 広報
080-2197-1004

28 水
18:00

東京工業大学管弦楽団 第155回 定期演奏会

指揮:末永隆一
シベリウス:交響曲第2番 / チャイコフスキー:バレエ組曲「くるみ割り人形」 / ファンパーディング:オペラ『ヘンゼルとグレーテル』より「序曲」

主催公演

31 土
15:00

MUZA ジルベスターコンサート 2016

指揮:井上道義 ソプラノ:小林沙羅 メゾソプラノ:森山京子 テノール:西村 悟 バリトン/司会:構成:大山大輔 ピアノ:中桐 望 コーラス:東響コーラス
管弦楽:MUZAジルベスター管弦楽団 ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」より第3,4楽章 / J.シュトラウスII:皇帝円舞曲 / ヨーゼフ・シュトラウス:鍛冶屋のポルカ 他

お問い合わせ:ミュゼ川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミュゼ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道 かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



江戸時代の粋に遊ぶ その23 「狂言」

日時: 12月10日(土) 14時から(13時半開場)

料金: 1,500円(事前申し込みなし) 定員: 先着80名(自由席)

会場: 東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演: 善竹富太郎



©越智貴雄



善竹 富太郎

1979年8月10日生まれ 東京都出身。

学習院大学文学部卒。祖父故 善竹圭五郎、父 善竹十郎に師事。

3才より稽古を始め、5才の時に狂言「靱猿」(うつぼざる)の小猿役で初舞台。その後20才で「三番三」(さんばそう)、22才で「那須」(なす)、24才で「釣狐」(つりぎつね)を抜く。昭和音楽短大ミュージカル学科講師。

第3回 前座・二ツ目激励 「交流館 お昼の落語」

日時: 2017年1月18日(水) 14時から(13時半開場)

料金: 無料 定員: 先着80名(自由席) 会場: 東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演: 前座 金原亭駒六 二ツ目 初音家佐吉

※12月29日(木)から1月3日(火)まで休館

2016 かわさき冬のコンサート 再発見 日本の音 ～箏 尺八～

日本の伝統楽器 箏(こと)・尺八でお届けするプログラムです。初めてお聴きになるという方にもお楽しみいただける内容となっております。和の調べが織り成す、間や響き、風情を感じていただけるよう、心を込めてお届けいたします。

● 日時: 12月10日(土) 14時開演(13時半開場・15時半終演予定)

● 会場: ふれあいプラザかわさき2階ホール

(川崎市川崎区堤根34-15 ふれあいプラザかわさき内 京浜急行線八丁駅徒歩5分・JR川崎駅徒歩15分)

● 料金: 無料・予約不要 ● 演奏: 琴/澤村祐司、小畔香子、加藤侑子 尺八/見澤太基

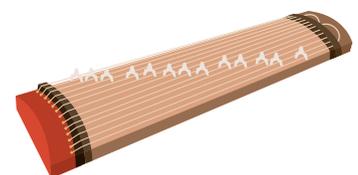
● 演奏曲目: 『春の海』(宮城道雄)、『琉球民謡による組曲』(牧野由多可)

朗読 箏 尺八による『日本の昔話 ～鶴の恩返し～』(澤村祐司) ほか

【お問い合わせ】川崎市視覚障害者情報文化センター(アイeyeセンター)

電話 044-222-1611(指定管理事業者: 社会福祉法人日本点字図書館)

主催/川崎市視覚障害者情報文化センター



水墨南画・つるし雛展 70の手ならい展



会場いっぱいに飾られた水墨画とつるし雛

美墨会による「水墨南画・つるし雛展」が開催されました。

この会を主宰する石渡美華さんは自宅で水墨南画とつるし雛を地域の人に指導しています。今回は、石渡さんと生徒たち30数名の色とりどりのつるし雛20点と、繊細な水墨画50点が華やかに会場を飾りました。会期中は1,300名を超える来場者が会場を訪れ、顔をほころばせながら鑑賞を楽しんでいました。

つるし雛の人形には一つ一つ意味があり、昔から子どもや孫の幸せを願いながら、心をこめて作られてきました。制作には、最低でも1作品につき1年はかかるそうで、「気構えがないと作れない」と石渡さん。お孫さんのために夢中で作ったという方の作品も展示されていました。

石渡さんは「つるし雛は作るのに長い時間がかかりますが、大人が見ても心が穏やかになり、ほっこりします。一つ一つの人形に心が込められた作品は、ずっと見ていたくなる可愛さです」と話してくれました。

(9月20～25日 アートガーデンかわさき)

第6回 川崎郷土・市民劇 出演者オーディション



輪になって中央で踊る人の真似をするゲームを楽しむ出演者たち

来年5月に上演する川崎郷土・市民劇「南武線誕生物語」の出演者オーディションを行いました。

応募者全員が出演できる市民劇。オーディションは選考ではなく、配役を検討する機会として設けられました。今回、10代から80代まで41名の応募があり、演劇は初めてという方から何十年も活動しているベテランまで、様々な方が集まりました。

まず始めに、演出家の板倉哲さんから「出会って交流するのが演技の基本。良いところも自信のないところも、全て出してほしい」と話があり、出演者たちは自己PRや他己紹介、さまざまなゲームを楽しみながら個性を発揮し、交流を深めていました。

ここからスタートする市民劇。出演者、制

作者たちが全力で舞台を作り上げていきます。来年5月の舞台にご期待ください！

(10月6・8日 エポックなかはら・スペース京浜)

狂言全集 第8回



狂言「宗論」

徳川幕府の式楽の伝統を継承する大蔵流狂言山本家の能楽師を迎え、「狂言全集」を開催しました。

約200番ある狂言の主だったものをシリーズでお届けするこの公演。今回は、鬼瓦を見て泣き出してしまう大名を描いた「鬼瓦」、佐渡に狐がいると見栄を張った百姓のやり取りが楽しい「佐渡狐」、浄土宗と法華宗の僧がそれぞれの宗派の優劣を争う「宗論」の三番を上演しました。

上演後は、人間国宝 山本東次郎師による狂言のお話。人間の愚かしさを笑いにくるんで表現する狂言は「人間賛歌」だというお話から、演目を一曲ごとに分かりやすく、観客の笑いを誘いながら解説して下さいました。最後に、京都から岐阜までの間の風物詩を謡った小舞「海道下り」が披露され、満員の観客を魅了しました。

- 東次郎さんの表情の動き、浄土僧のしたたかさ、間近で伝わってきました。ご一門の一段と脂ののった力強い芸とお声にも感動しました。(50代/男性)
- 毎回楽しませていただいています。特に最後の解説!(60代/女性)

(10月15日 川崎能楽堂)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ズービン・メータ指揮



©青柳 聡

ウィーン・フィルは2年ぶりのミュゼガ公演。特筆すべきは、後半に演奏したシューベルトの交響曲第8番「グレート」の管楽器の配置でしょう。通常は弦楽器群の後ろに配置される木管楽器8名が、指揮者の目の前(つまりコンサートマスターよりも前)をぐるりと囲む形に座り、モーツァルトの協奏交響曲のような舞台配置で演奏しました。こうすることで木管楽器のソリスト的な役割が強調され、新鮮な効果をもたらしていました。

アンコールはドヴォルザークのスラヴ舞

曲第8番でした。世界最高の響きに、満席となった会場からは大きな拍手が起こりました。(10月9日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

幫間



江戸時代の粹に遊ぶシリーズ22回目となる今回は「幫間」。太鼓持ちとも言います。

幫は助けるという意味があります。字のごとく「間を助ける」。つまりお座敷の時の客と客、客と芸者の間を助け、その場の雰囲気壊さないようにするという仕事です。

櫻川七好さんは、浅草の幫間です。ですが、もともと新劇の俳優で、たまたま幫間の役をやったところ、浅草の新内芸者宮ふじという姐さんから、「役者より幫間のほうが向いてるんじゃない?」と言われ幫間の道へと進んだといひます。

昭和11年あたりは花街もにぎやかで、幫間は全国に500人もいたそうです。それが今や7人しかいないといひます。

芸者さんの一日(それも88歳という設定・笑)、かっぱれ、屏風芸などを披露してくださいました。会場、大ウケ。ありがとうございました。

次回は、12月10日(土)「狂言」です。

(10月15日 東海道かわさき宿交流館)

アート講座 vol.8

新百合ヶ丘に幅広いジャンルの舞台芸術が集結する、川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)。この芸術祭をより楽しめるように、多彩なジャンルから一流の講師を迎えて芸術の魅力学ぶ「アート講座(全10回)」が開催されました。

第3回目となる今回は、武蔵野大学名誉教授の増田正造さんによる「能と狂言の世界」についての講義でした。

能と狂言の違いについてのお話や、「能の演劇としての最大の特徴は、世阿弥が発明した、死の世界を生の世界から見るという逆転の発想」というお話など、興味深い内容が盛りだくさんで、能や狂言を観たくなる気持ちが高まります。

昨年見つけたばかりだという、ヨーロッパで初めて能が上演された時の貴重な映像も披露され、受講生たちは「難しいと思っていた能の世界が身近になった」と嬉しそうに語ってくれました。

(10月22日 新百合トウェンティワンホール)



アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分・京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

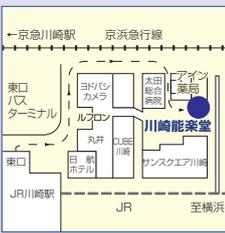


貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂



貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

2016.12

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・パーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	須山会100人展 12月6日(火)～11日(日)						川崎市身体障害者協会 障害者作品展 11月21日(水)～25日(日)																								
	第2展示室	東京ピクセル2016 ～12月4日(日)						木美会 絵画展 12月6日(火)～11日(日)						新世紀美術協会 東京支部展 12月13日(火)～18日(日)						戸山灰 個展 11月20日(火)～25日(日)												
	第3展示室	JFE京浜陶芸部展 12月6日(火)～11日(日)												読売日本テレビ文化センター「写真展」 11月20日(火)～25日(日)																		
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー1、2階 TEL.433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		グルーポ・カロカ 第4回 磁器絵付作品展 12月2日(金)～5日(月)						パステル画研究会 2016 年度作品展 12月9日(金)～14日(水)						中原陶芸研究会 作陶展 12月16日(金)～21日(水)※19日休館						太陽絵画教室 絵画展 12月24日(土)～26日(月)												
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) ●年末年始休館 12月29日(木)～2017年1月3日(火) ●[予告]改修工事に伴う休館 2017年1月16日(月)～3月31日(金)	企画展	2016川崎フロンターレ展 12月17日(土)～2017年1月15日(日) 同時開催「ふろん太くん似顔絵展」、「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト												第50回記念 かわさき市美術展 12月23日(金・祝)～2017年1月14日(土)																		
	アートギャラリー	竹宮恵子監修 原画(ダッシュ)展示シリーズ 青年マンガの世界、山岳写真展、ベスト・セレクション — 世界旅行に出かけよう — ～12月11日(日)																														
	博物館展示室	「近代・現代」特集展示「川崎のくだもの」～1月15日(日)												マンスリー展示「徳川将軍菩提寺と川崎 — 増上寺領の村々 — 」～12月28日(水)																		
	ミュージアムギャラリー	第4回 版画アトリエ一般開放 アトリエ指導員展「そこにある場所」～12月11日(日)												小杉村絵図(宝暦12年)																		
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL.814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第33回かわさき市民芸術祭 こども芸術祭 12月2日(金)～7日(水)						川崎の子ども版 画展 12月10日(土)～13日(火)						透水会展 12月16日(金)～21日(水)※19日休館						障害者の方の自主製品展示 12月22日(木)～27日(火)												
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL.888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		青彩会 作品展 12月2日(金)～6日(火)						さぎぬま絵本同好会 手づくり絵本展 12月9日(金)～14日(水)						菅生デッサン研究会 作品展 12月16日(金)～21日(水)※19日休館																		
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL.935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		M絵画倶楽部 絵画展示会 12月2日(金)～7日(水)						ポケO写真クラブ 写真展 12月9日(金)～14日(水)																								
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区研形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】12月の休館日/毎週月曜日 年末年始休館/12月29日(木)～2017年1月3日(火)	企画展	有料 企画展「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展 ～2017年1月9日(月・祝) 観覧料:一般900円、高・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料																														
	常設展	有料 常設展「太郎の眼玉ダンジョン」展 ～2017年1月9日(月・祝) 観覧料:一般900円、高・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料												岡本太郎《明日の神話》油彩・キャンバス1968年																		
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL.951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		市民自主企画事業 「おもちゃを作って遊ぼう」作品展覧会 12月2日(金)～7日(水)						特別支援学校・特別支援学級の児童生徒・卒業生による かわさきふれあい作品展 12月9日(金)～14日(水)						多摩油彩研究会作品展 12月16日(金)～21日(水)※19日休館						第22回しゃらく麻生写真展 12月23日(金・祝)～27日(火)												

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展

2016川崎フロンターレ展

12月17日(土)~2017年1月15日(日)

観覧料:無料

※一部2017年度川崎フロンターレ後援会
会員限定エリア

今年、クラブ創立20周年を迎えた川崎市をホームタウンとするサッカークラブチーム『川崎フロンターレ』の2016年の戦いの軌跡を、オフィシャルカメラマンによる試合写真を中心に、バラエティに富む内容で紹介し、その魅力を伝えます。

また「ゲーフラ(応援の旗)作り体験」「ミニ四駆工作教室」(予定)など、多彩なイベントを開催します。詳しくは川崎フロンターレのホームページなどでお知らせします。

■同時開催

「ふろん太くん似顔絵展」

「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト

主催:川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業実行委員会



昨年度展示風景



©KAWASAKI FRONTALE

第50回記念 かわさき市美術展

12月23日(金・祝)~2017年1月14日(土)

川崎市で最も歴史のある公募展である本展は、昭和42年にはじまり、今年度は第50回を迎えます。

応募された作品のなかから入賞、入選された作品を展示いたします。

主催:川崎市、かわさき市美術展運営委員会

後援:川崎市教育委員会

協賛:川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合



第49回最優秀賞
《はなのいろは...》福田典子

アートギャラリー

観覧料:無料

テーマに沿った収蔵品を展示

開催中~12月11日(日)

竹宮恵子監修 原画(ダッシュ)展示シリーズ 青年マンガの世界

山岳写真展

ベスト・セレクション - 世界旅行に出かけよう

博物館展示

観覧料:無料

川崎の考古・歴史・民俗について通史で展示

■「近代・現代」特集展示

「川崎のくだもの」

開催中~2017年1月15日(日)

名産の梨を中心に、近現代の川崎のくだもの生産の様子について所蔵資料から振り返ります。



「多摩川梨」ラベル(昭和時代)

■マンスリー展示

「徳川将軍菩提寺と川崎

— 増上寺領の村々 —

開催中~12月28日(水)

江戸時代、市域には徳川将軍菩提寺である増上寺が支配する村が散在していました。下平間村・小向村・小杉村などの村々に残された資料から、増上寺領の村々の特色に焦点を当てます。



小杉村絵図(宝暦12年)

ミュージアムギャラリー

■第4回 版画アトリエ一般開放 アトリエ指導員展

「そこにある場所」 開催中~12月11日(日)

この他にも上映・講座・イベント情報をホームページにてご案内しています。

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533

【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分

【開館時間】9:30~17:00(入館16:30まで)

【休館日】12月の休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館)

年末年始休館/12月29日(木)~2017年1月3日(火)

(予告)改修工事に伴う休館/2017年1月16日(月)~3月31日(金)

http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展/開催中~2017年1月9日(月・祝)

「太郎の 眼玉ダンジョン」展

岡本太郎が生涯にわたり執拗に描き続けた「眼玉」作品を特集します。

油彩作品と併せてドローイングも紹介し、太郎の鬼気せる「眼玉」の世界に迫ります!



岡本太郎《眼》
1985年

企画展/開催中~2017年1月9日(月・祝)

「つくることは生きること 震災《明日の神話》」展

地震によって引き起こされる多くの悲しみや苦しみの中で、創作や表現活動など、芸術やアートと呼ばれる活動は何かができるのか。

東日本大震災から5年を迎えた今年、東北の被災者や作家たちの作品、そして岡本太郎の代表作《明日の神話》を通してアートの可能性を問ひかけます。



安藤崇作《TO SOUL FROM SOUL》
2016年
(MU東心斎橋画廊での個展 参考図版)

一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料。

*カコ内は20名以上の団体料金

*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

【つくることは生きること 震災《明日の神話》展・関連イベント情報】

◆「ハッピードールをつくろう」

12月3日(土) 13:00~16:00

内容:東北や熊本で被災した方たちに贈るハッピードールをつくります。どなたでもご参加いただけます。

会場:ギャラリースペース

料金:無料



◆「つくることは踏み出すこと」トークイベント

12月3日(土) 14:00~15:00

内容:アーツフォーホープの東北支援について、活動の軌跡を紹介します。

出演:藍原寛子(ジャーナリスト)、高橋雅子(ARTS for HOPE代表)

会場:企画展示室

料金:展覧会観覧料のみ

◆「おどることは生きること」

12月11日(日) 15:00~16:30

内容:宮城県塩釜市で2012年から開催されているGAMA ROCK FES.主催のお二人によるパフォーマンス&トーク。

パフォーマー:ATSUSHI(Dragon Ash)

音楽:タブゾンビ(SOIL & "PIMP"SESSIONS)

ゲスト:平間 至

会場:企画展示室、母の塔

料金:展覧会観覧料のみ



ATSUSHI

◆岩井俊二『friends after 3.11【劇場版】』特別上映

岩井俊二監督が、震災以降に出会った人々、そして久しぶりに再会した友人と語る、東日本震災に続いた福島第一原発事故後の「日本の未来」を綴ったドキュメンタリーを上映します。

日時:12月4日(日)、24日(土)、1月8日(日)
各日14:30~16:45

会場:企画展示室

料金:展覧会観覧料のみ



岩井俊二
『friends after 3.11【劇場版】』
2012年より

多摩区形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30~17:00(入館締切16:30)

【休館日】12月の休館日/毎週月曜日

年末年始休館/12月29日(木)~2017年1月3日(火)

http://www.taromuseum.jp

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



アルテリオ小劇場

company ma 第2回公演 子どもと大人と一緒に観るお芝居シリーズ

ふたつのつばさ

作:アン・ネグリ 演出・美術・翻訳:大谷賢治郎 音楽・生演奏:青柳 拓次

アメリカの公立小学校で演劇を教える新進劇作家、アン・ネグリによる作品。アメリカ国内にて数々の児童演劇の賞を受賞している。鳥の家族の物語を通して、障がいや個性について観客に問いかける作品。

森の奥深く、高い壁に囲まれた家で両親とともにひっそりと穏やかに暮らすライフ。ただし、彼には絶対に破ってはいけないルールがあった。いつでも上着を身に着けていること、壁の向こうの世界へ行かないこと、知らない人と話さないこと、おとうさんの作業部屋には入らないこと、絶対に飛ぼうとしないこと……。すべて危険から身を守るためのルールだとおかあさんは言う。そんなある日、壁の中に迷い込んできた双子のメタとトーアから、外の世界の“普通”を聞かされたライフ。いつか外へ飛び出して海まで飛んでいきたいと夢見るのだが……。



2016年12月10日(土) 13:00 / 17:00、11日(日) 11:00 / 15:00 ※開場は開演の30分前

【出演者】大谷恵理子、原田 亮、森山蓉子、庄崎真知子(劇団銅鑼)、土井真波(劇団銅鑼)

【チケット】一般 3,500円 / 大学生・2,500円 / 中高生・2,000円 / 小学生以下・1,000円 / 3歳児以下ひざ上無料(全席自由・税込)

※当日500円増 ※団体割引、障がい者割引あり(劇団に問い合わせください)

【取扱い】[web] こりっち <http://stage.corich.jp/>[e-mail] tickets@company-ma.com(氏名、チケット券種・枚数、公演日時、e-mailアドレスを明記してください)

[電話] NPO法人 KAWASAKIアーツ 044-953-7652(月～金 10:00～18:00)

第47回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2016年12月17日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】林家錦平、初音家左橋、初音家左吉、柳家寿伴

【チケット】一般 2,000円 / 学生 1,000円(全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

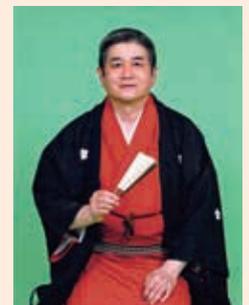
年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人と一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット:10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット:4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。※WEBでのお取り扱いはありません。



林家錦平



初音家左橋

〈2016年度の予定〉1/28(土)、2/25(土)、3/25(土)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

【取扱い】川崎市アートセンター

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

[電話] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

※学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

【お知らせ】仲入りでは演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。何が当たるかは参加してのお楽しみ!

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ:川崎市アートセンター TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>

川崎市アートセンター
アルテリオ映像館



2015 by JANIS PRODUCTIONS LLC & THIRTEEN PRODUCTIONS LLC. All rights reserved.

ジャニス リトル・ガール・ブルー

2015年/アメリカ/カラー/1h43

監督・脚本：エイミー・バーグ

ナレーション：キャット・パワー

出演：サム・アンドリュース、ピーター・アルビン、ティ
ブ・ゲッツ、クリス・クリストファーソン、カントリー・
ジョー・マクドナルド

20世紀のポップ・ミュージック史における不滅のアイコン、ジャニス・ジョプリン。ベトナム戦争や公民権運動、ウーマンリブといった波がアメリカを揺らした激動の時代を全速力で駆け抜け、惜しくも27歳で早逝した彼女の素顔に迫るドキュメンタリー。新進気鋭の女性監督エイミー・バーグが6年の歳月をかけ、家族や友人に宛てた未公開の手紙とともにジャニスの人生を追いかける。

12.17-12.28

INTERVIEW WITH AMY J.BERG

エイミー・バーグ監督インタビュー

Q: ジャニス・ジョプリンのどこに惹かれたのですか？

エイミー・バーグ（以下、エイミー）：さまざまな側面に魅力を感じましたが、特に、ジャニスの内面にある自己承認欲求、成功へのあくなき欲望、そして失敗することへの強い恐怖心といった部分に強く惹かれました。1940～50年代のアメリカの南部というのは、今とは比べものにならないほど、保守的な環境で、家族が彼女に求めることと、彼女自身が求めていることの間には大きな溝があり、幼いころの彼女はその間に引き裂かれていたのです。……そうした環境の中で、普通の南部の女の子として生きていくか、それとも壁を打ち破って自分の道を突き進んでいくべきなのか、ジャニスは常に葛藤していました。

Q: 映画を作るなかで、なにかいちばん大変でしたか？

エイミー：物語を紡いでいくのが難しかったですね。……もっと詩的に、抽象的にジャニスの人生を綴りたいという欲望もあったのですが、ジャニスを決定づけたともいえるテキサスで過ごした日々ことは描く必要があると感じていました。彼女が世に出て有名になってからの資料はたくさん素晴らしいものがありますが、サンフランシスコへ出ていく16歳までのものはほとんど残っていません。……もっとパーソナルな肖像を描き出すため、編集には力をいれました。資料とにらめっこし、編集者と何度も相談しながら、ひとつずつ丁寧に積み重ねていきました。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝ザジフィルムズ)



©STUDIOCANAL S.A. 2015

われらが背きし者

2016年/イギリス/カラー/1h49

監督：スザンナ・ホワイト

出演：ユアン・マクレガー、ステラン・スカルスガルド

モロッコでの休暇中、平凡な大学教授とその妻は偶然知り合ったロシア・マフィアの男から USB を預かってしまったことから、危険な亡命劇に巻き込まれてしまう。ロシア、モロッコ、イギリス、フランス、スイス、世界を股に駆けた緊迫のスパイ・エンタテインメント。

12.3-12.16



©2015 NORDISK FILM PRODUKTION A/S

ある戦争

2015年/デンマーク/カラー/1h55

監督：トビアス・リンホルム

出演：ビルー・アスベック、ツヴァ・ノヴォトニー

アフガニスタンの紛争地帯で市民を守る任務を背負ったデンマークの治安部隊長は、部下を救うために空爆命令を下すが、それは多くの一般市民の命を奪ってしまう。極限状態で問われる人間の正義と命の尊さを問う、心揺さぶるドラマ。

12.3-12.16



©2015 INFINITY COMMISSIONING AND DISTRIBUTION, LLC. ALL RIGHTS RESERVED

奇蹟がくれた数式

2016年/イギリス/カラー/1h48

監督・脚本：マシュー・ブラウン

出演：デヴ・パテル、ジェレミー・アイアンズ

ケンブリッジ大学のハーディ教授はインドから驚くべき“発見”が記された手紙を受け取り、早速差出人のをラマヌジャンを大学に招聘する。性格も文化も異なる二人の天才数学者が、様々な葛藤を乗り越え、やがて深い友情を築いてゆく様子を描いた実話の映画化。

12.10-12.23



©FILM-IN-EVOLUTION - LES PRODUCTIONS BALHAZAR - FRAKAS PRODUCTIONS - LFDLPA Japan Film Partners - ARTE France Cinema

ダゲレオタイプの子

2016年/フランス・ベルギー・日本/カラー/2h11

監督・脚本：黒沢清 出演：タハール・ラヒム、コンスタン・ルソー、マチュー・アマルリック

パリ郊外の古い路地に佇む屋敷を舞台に世界最古の撮影方法“ダゲレオタイプ”が引き寄せる愛と悲劇を描いたホラー・ラブロマンス。世界中から高い評価を得ている黒沢清監督がオールフランスロケ、外国人キャストで挑んだ初の海外進出作品。

12.10-12.23



©Alamy Film

どうもろこしの島

2014年/ジョージア・ドイツ・フランス・チェコ・カザフスタン・ハンガリー/カラー/1h40

監督：ギオルギ・オヴァシシュヴィリ 出演：イリアス・サルマン

激しい戦争状態にあるジョージア(グルジア)と、独立を主張するアブハジアの間に流れる川沿いを舞台に、黙々とどうもろこしを育てる老人と祖父との生活を余儀なくされた孫娘の成長を描く。大自然のめぐりと人間の営みを対比させ、戦争の意味を問う寓話的な傑作。

12.17-12.23



©Alamy Film

みかんの丘

2013年/エストニア・ジョージア/カラー/1h27

監督・脚本：ザザ・ウルジャゼ

出演：レムビット・ウルフサク、エルモ・ニウガネン

ジョージア(グルジア)のアブハジア自治共和国で紛争が勃発し、周りの多くが帰国する中、みかん栽培をするイヴォとマルガスは帰国せずに残っていた。ある日、戦闘で傷ついた2人の敵同士の兵士を自宅で介抱することになる。戦争の不条理と人間性の尊さを描く感動作。

12.24-12.28



©2015 - Ideale Audience - Zero One Film - N279 Entertainment - Arte France Cinema - Musee du Louvre

灼熱

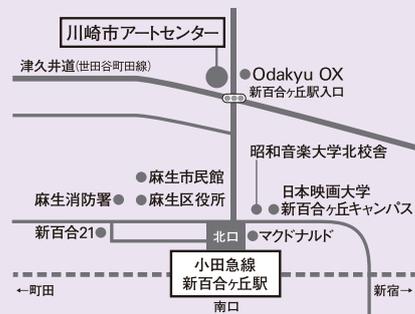
2015年/クロアチア・スロベニア・セルビア/カラー/2h03

監督・脚本：ダリボル・マタニッチ

出演：ゴラン・マルコヴィッチ、ティハナ・ラズヴィッチ

クロアチアがユーゴスラビア連邦からの独立を宣言し、国内でのクロアチア人とセルビア人の紛争が勃発した1991年を皮切りに、紛争終結後の2001年、そして現代の2011年と、3つの時代に生きる3組の若者の愛の物語を描く。

12.17-12.28



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200

info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売

◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日

のお楽しみ

2016

ラゾーナ寄席

12月20日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

- 会場…ラゾーナ川崎プラザソル
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出演…三遊亭遊雀・桂米多朗・三遊亭遊里・春風亭べん橋
- 入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭遊雀



楽しまう



狂言を

野村万蔵による芸能サロン



■日時
2017年
1月21日(土)
13:30開演(開場13:00)

■会場
川崎能楽堂
(JR川崎駅東口徒歩5分)

■料金
3,000円(全席指定)

■狂言のお話
野村 万蔵

■狂言
「附子」小笠原 匡

■狂言
「蝸牛」野村 万蔵

■チケット発売
2016年12月14日(水) AM9:00より 川崎能楽堂窓口にて販売 **先着順**
(※残券があれば、同日正午より電話でも販売いたします)

■受付時間
窓口・電話 **9:00~17:00** *但し、発売初日の電話受付は正午から。

■チケット取扱・お問合せ
川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37 TEL:044-222-7995 FAX:044-222-1995

■主催 公益財団法人川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F TEL:044-222-8821
*開演後にご入場いただけない場合がございます。また出演者等変更になる場合もございますのでご了承ください。
なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成28年12月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311